

スポーツ国際開発学共同専攻担当教員研究領域等一覧

令和4年4月現在

●鹿屋体育大学所属教員

【専任教員】

〔研究指導担当教員〕

区分	氏名（職名）	担 当 授 業 科 目	研 究 領 域
研究指導担当教員	山 田 理 恵 （教授）	オリンピックムーブメント論 研究方法論 異文化交流・コミュニケーション スポーツ国際開発学課題演習 課題研究	日本とドイツの場合を中心に、固有の伝統的スポーツや身体運動をめぐる諸現象を比較・検討し、スポーツ文化の伝統性や特性などについて歴史的、社会的、民俗学的考察を行っている。
	北 村 尚 浩 （教授）	スポーツ国際開発論Ⅰ スポーツプロモーション論 研究方法論 スポーツ国際開発学課題演習 課題研究 On the Job Practice(International)	スポーツを中心としたレジャー・レクリエーションの社会科学的研究を主要研究領域とし、生涯にわたるスポーツ・ライフスタイル形成の視点から、特に学校での教科体育や運動部活動をはじめ、スポーツ少年団や地域スポーツクラブなどにおける青少年スポーツのあり方や、レジャー・レクリエーションの社会的意義について検討している。
	森 克 己 （教授）	オリンピックムーブメント論 スポーツ国際開発学課題演習 課題研究	スポーツは「世界共通の人類の文化」(スポーツ基本法前文)である。また、「文化」とは、「人間が自然に手を加えて形成してきた物心両面の成果」(広辞苑)のことである。日本で20数年前に学会が設立されて本格的に研究が開始されたスポーツ法学は従来日本の実定法学が対象としてこなかった「文化」を対象とする新しい法学であると認識されている。スポーツと法に関わる人類学的な問題について、その歴史的な背景を踏まえ、スポーツ法学的な手法を用いて考察している。
	イスラム モハモド モニル （准教授）	ヘルスプロモーション論 スポーツ国際開発学課題演習 課題研究	1)わが国における地域在住の健康な高齢者から施設入所している高齢者を対象に介入運動に関する研究している。今後は発展途上国の高齢者の日常生活上身体活動量の測定とともにその人たちの身体活動量を高める方法に関する研究行う予定。 2)発展途上国の上水と下水問題解決法(雨水利用及びサニタリートイレ利用など)に関する研究している。

【兼任教員】

〔授業のみを担当する教員〕

区分	氏名（職名）	担 当 授 業 科 目
授業のみを担当する教員	国 重 徹 （教授）	異文化交流・コミュニケーション
	中 村 勇 （講師）	日本文化伝播論 On the Job Practice(International)
	隅 野 美砂輝 （講師）	スポーツマネジメント論 On the Job Practice(International)